

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 5 月 29 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200445		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	グループホームほのぼの苑五日市八幡		
所在地	広島市佐伯区八幡5丁目16番10号 (電話) 082-927-8400		
自己評価作成日	平成24年4月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年4月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>ご家族様・入居者様・苑との信頼関係を作り、ご家族様の安心、入居者様が笑顔を絶やさず生きがいのある生活が送れるように職員は、お一人おひとりに心を込めて、きめ細やかな気配り介護を行っている。そっと寄り添える介護・待つ介護・安心できる介護に努めている。絵手紙、折り紙、体操・フラダンス等、多くの地域のボランティアさんの協力を得ている。中庭の菜園及び花畑などを活用し土作りから水やり・花の手入れ等が楽しみの一つになっている。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>グループホームほのぼの苑五日市八幡（以下、ホーム）は、平成23年8月に認知症高齢者に家庭的な環境と安心して快適な暮らしの場を提供するために、開設されたホームです。落ち着いた住宅街の一角にあるホームは、周辺の風景にとけこむように建てられています。共有スペースからは、広い中庭へ自由に入出入りすることができ、野菜や花づくりなどができます。また、仲間との会話や散歩、食事会など外に出かける習慣が継続できるよう取り組まれています。独立した機能訓練室があり、入居者が無理なく楽しくやる気に繋がる能力維持に努めておられます。</p> <p>ホームでは職員のための休憩室が設けられ、職員間のコミュニケーションや気分転換の場ともなっており、常に笑顔で支援できるよう配慮されています。「入居者の笑顔がすべて」そのための研修や情報交換を積極的に行い、チームケアの取り組みに努めておられます。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（西）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	開所時の研修で作った理念にて、毎朝礼にて理念の唱和を行っている。	開設時に、入居者主体の支援をめざすという思いが込められたホーム独自の理念を掲げておられます。毎日唱和することで、理念の徹底と浸透を図り、入居者が笑顔で暮らせるよう取り組まれています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入している。地域のボランティアさんの協力により入苑者様との交流をしている。地域の中の美容院に通っている。	開設時に町内会に加入し、地域住民と交流されています。ホームでは、地域の一員として町内会の役割に協力する意向を持ち、地域に密着したホームとしての関係づくりに努めておられます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議に地域の方に参加していただき、施設の理解をいただいている。GHとしては、はいかい高齢者等sosネットワークに登録している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議にて出た意見は、職員会議にて話し合いを行い、検討・実践をしている。	運営推進会議は、住民代表、家族、地域包括支援センターなどの参加が得られています。会議では、日々感じている疑問や相談、提案などが持ち込まれています。参加者からケアに関する意見が出され、反映と実践に向けてその都度話し合われています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への参加依頼を行い、出席していただきながら助言等をいただいている。	運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加があり、直接意見交換をする機会にもなり、協力関係が築かれています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠は、すぐ目の前が道路に面しているため、入居者様の安全を考慮し、施錠を行っている。中庭の扉については、自由開放し出入り出来るようにしている。</p>	<p>ホームは、交通量の多い道路に面しているため、玄関は必要に応じて開放し、安全な暮らしに努めておられます。ホームの庭は、自由に入出入りすることができます。また、職員と一緒にホーム周辺を散歩し気分転換を図るなど、入居者の行動を制限しない支援に取り組まれています。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修を行うことにより虐待について考え、安心して生活していただけるように努めている。毎月の会議でインシデントについて分析を行い再発の防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>開設時に研修を行い制度の理解を学習し、周知徹底している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、説明をしっかりと行うことにより、不安をなくしている。疑問については、その都度、十分な説明を行い、理解・納得していただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>2ヶ月に一度の運営推進会議を行うことによりご家族様の意見を率直にお聞きする機会作りをしている。ご家族様からの質問・意見は、真摯に受け止め対応している。</p>	<p>家族会を運営推進会議と同じ日に行うなど工夫し、要望や意見、相談を参加者全員で共有されています。入居者への言葉遣いについて、家族から意見が出され、改善に向けて取り組まれています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月1回 スタッフ会議を行うことにより職員の意見や提案を聞き、運営作りに活かしている。</p>	<p>職員間のコミュニケーションが良く、日頃の意見交換がケアに反映できるよう努めておられます。また、専門部会の内容をスタッフ会議で伝え、ケアの向上に反映させておられます。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に昇給(職員・パート)する給与体制が出来ている。職員の希望休は、100%受け付けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>朝礼や研修にて、職員指導を行うことにより、職員の専門性を高めたり、質の高い生活の実現にむけて職員教育をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部の研修に参加することにより同業者同士の交流の機会をつくり、相談ことや自己のモチベーションの向上につながるような関係作りを大切にしている。社内研修にて、同グループにおける職員同士の交流も随時行っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入苑に際して、ご本人に困りごとをお聞きしたり、どのような生活をして行きたいのか十分に聞くことにより信頼関係を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>ご家族様の不安や要望を丁寧におききすることにより入苑に際しての不安をなくしていただき、安心して入苑の手続きが出来るよう心を込めて対応をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>介護支援専門員により細やかな計画を行い入苑者様の状態に合わせたケアの実現に向けてサービスを行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>生活リハビリの場であることを念頭におき、役割作りを探し、掃除や洗濯物たたみ等、出来ることを一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご本人とご家族様の関係作りに努め、小さなことでも相談を受け、電話連絡を行うことにより、家族間の絆作りのお手伝いをしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>知人・友人の面会やお手紙を書かれたりしている。ご家族様の協力により、外出をされている。</p>	<p>昔からの親しい知人の訪問や、遠方の友人と手紙で交流する入居者もいるなど、入居後もこれまでの関係が途切れないよう支援されています。また、入居者は家族と一緒に思い出のある場所に出かけています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入苑者同士が孤立しないように職員が声かけを行いリビングにて過ごされている。日々、個々の体調に合わせ、レク活動や体操等を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も時折、ご家族様に本人様の様子を電話にて確認し、状況に合わせた支援を行っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント表やセンター方式を用い、本人様の意思把握に努めている。	入居者の自信につながる支援が行えるよう、日々の関わりの中から新しい情報を得るよう努めておられます。得た情報は、アセスメント表などに記載し、一人ひとりの思いが実現できるよう取り組まれています。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式を用いることにより今までの生活様式や思いをご家族様にお聞きし把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入苑者様の生活状況や健康状態を日々、日誌に記入し全職員が把握できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>事前にご本人・ご家族様に要望等をお聞きしておき、看護師・介護職員にてカンファレンスを行い検討後、一人ひとりに合わせたケアプランを作成・実施している。</p>	<p>モニタリングをもとに、入居者・家族の思いや要望を聞き、必要に応じて専門職員も交えながらチームでの計画作成が実施されています。入居者の状態の変化があった場合などに備えて、カンファレンスは随時開くようにされ、一人ひとりの現状を踏まえた話し合いがされています。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>看護師・介護職員・ケアマネそれぞれが、入居者様の状況を記入している。朝礼にて気づきを報告し情報の共有に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族様の協力の下、面会・外出(外食)をしていただいたり、年末年始には、外泊をされている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のボランティアさんの協力により多彩な活動内容を披露していただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入所時に苑との提携病院の説明を行い、かかりつけ医を決定している。月2回の往診をしていただき、24時間いつでも医師と連絡が取れる体制作りをしている。</p>	<p>従来のかかりつけ医と協力医療機関での受診ができるよう支援されています。通院は、必要に応じて職員や家族が付き添っておられます。また、医療連携ノートで家族と共有を図るなどの工夫をし、適切な医療が受けられるよう努めておられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師による毎日の健康観察を行っている。日頃の状態把握を行うことにより、早期発見となり軽度の処置で済んでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>主治医より連携病院等への入院となり、医療機関との連携がとれている。退院時には、退院に向けての相談・アドバイスの関係作りが出来ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時に契約内容として重度化や終末期に対しての話をしている。入居者様の状態に合わせて、主治医・苑・ご家族様との話し合いを必要時に行っている。</p>	<p>開設して間もないこともあり、これまでに終末期ケアの事例はありません。重度化や終末期への対応は、入居時に説明を行っておられます。終末期のあり方については、医師や家族と話し合いながら事業所としてできることを支援されています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修にて消防署より心肺蘇生の訓練を行ったり、AEDの訓練も行っている。施設での研修も随時行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>毎月、第2週の夜間帯にて、自衛消防訓練を行っている。</p>	<p>消防署指導のもと、消火作業や避難誘導の訓練が実施されています。また、夜間を想定した自主訓練では、避難経路の確認などを地域住民と一緒に実施されています。訓練後は、次回の訓練に向けて課題整理し、災害時に備えて地域とも協力し合える関係を築かれています。</p>	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自分がされて嫌な事は、しないとの事を念頭に置き、心のこもった言葉かけを行っている。	その人に適した言葉遣いや対応に努め、今までの人生や現在の思いを大切にしたい支援を心がけておられます。また、一人ひとりの特性を理解しながら、トイレや風呂の時に入居者が羞恥心を感じないように配慮されています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入苑者様の思いや考えを聞くことにより、出来るだけ本人の意思に添えるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	楽しく、笑顔で過ごせるように職員は、心配り・気配りを行い、入苑者様の希望に沿った支援が出来るよう食事時間や外出等、工夫している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問美容にて、毎月カットされている。ご自分で好みの服を選んでいただいたり、お化粧をされている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べたい物をお聞きしメニューを決めたり、調理の準備等を一緒に行う等工夫しながら支援をしている。	毎日、入居者の希望を取り入れた食事を提供されています。職員と一緒に調理の手伝いをする入居者もおられ、できることを役割にされるなど持っている力を発揮させながら、また、自信につながるよう支援されています。色とりどりの食材を使い、美味しく食事が摂れるよう、見た目にも工夫されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日1500mlを目標にしている。食事形態についても流動食・刻み食・脂肪減食と個々に合わせた食事の提供をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後 口腔ケアを行っている。介助の必要な方については、出来にくい所の援助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄のパターンを調べ把握することにより、トイレ誘導を効率的に行い、自立に向けた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの排泄リズムを記録し、職員全体で共有し、トイレでの排泄が本人の自信に繋がるよう取り組まれています。トイレは広く、車椅子や介助にも十分なスペースが確保されています。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食物繊維・野菜をたくさん取り入れ、朝には、出来るだけフルーツや乳製品を取り入れ、水分をこまめに摂取していただいている。お腹のマッサージや適度な運動を取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日は、基本的には、決めているが、入苑者様の希望に沿うように入浴している。</p>	<p>入浴は、希望に添って毎日でも入浴することができます。また、入浴時間も一人ひとりの習慣を尊重し、家と同じようにゆっくり入浴できるよう支援されています。仲の良い人と2人で、会話を楽しみながら入浴する入居者もおられます。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	落ち着いた環境の中で安心して生活していただけるように窓辺に座り心地のよいソファを置いている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	看護師の指導のもと、薬の把握を職員が理解している。服薬については、3重の確認により内服していただいている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入苑者お一人ひとりに対して、行きたいところや、やってみたいこと、食べたい物などを把握するように努めている。苑外散歩も足腰の強化や気分転換のため行っている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	職員と共に苑外散歩に行ったり、苑の車にてドライブに出かけている。遠方な場合は、ご家族の協力を得て外出している。	天気の良い日に、ホーム周辺を散歩したり、買い物に出かけるなど気分転換と楽しみを兼ねた外出支援が行われています。家族との繋がりを大切にしたい外出の機会が多く、ドライブ、外食、墓参り、帰宅など頻繁に出かけておられます。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人・家族様の希望があれば、自分でお金を管理されている方もおられ、近くのコンビニ等に職員と一緒にいき、買いたい物を買われている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の依頼があれば、苑の電話を貸し出している。手紙もご本人が書かれ友人等に出されている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節感があふれるように各行事ごとに、飾りつけを行ってみたり、折り紙クラブでの作品や絵手紙での作品を玄関に展示している。座り心地のよいソファの提供によりダイニングでの活動が中心である。	リビングには、観葉植物、野辺の花、ホームで育てた季節の花が生けてあり、アットホームな雰囲気があり、居心地良く共有空間で過ごせるよう工夫されています。また、季節行事や入居者の作品、笑顔いっぱいの写真が飾られています。自由に出入りできる庭では、花や野菜を育てたり、日向ぼっこをしながら会話を楽しまれたりされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居室にてお一人の空間を楽しまれたり、ワイワイと気心の知れた入居者様同士の関係が作れるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの物を持参していただいたり、ご家族様による家具の持ち込みにより、個々の空間がより良いものになるように工夫されている。	居室には、ベッド、衣装箆が備え付けられています。入居者は、テレビ、テーブル、椅子など家で使い慣れたものを持ち込み、入居後も居心地良く暮らせるよう支援されています。また、ナースコールが設置され、入居者の安心と安全にも配慮されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	職員が見守りを行い、出来るだけ死角をなくし、入居者様が安全に過ごされるようリビングを広くしている。		

V アウトカム項目（西）			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営（東）					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	開所時の研修で作った理念にて、毎朝礼にて理念の唱和を行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入している。地域のボランティアさんの協力により入苑者様との交流をしている。地域の中の美容院に通っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	2ヶ月に一度の運営推進会議に地域の方に参加していただき、施設の理解をしていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議にて出た意見は、話し合いを行い、検討・実践をしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議への参加依頼を行い、出席していただきながら助言等をいただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関の施錠は、すぐ目の前が道路に面しているため、入苑者様の安全を考慮し、施錠を行っている。中庭の扉については、自由開放し出入り出来るようにしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修を行うことにより虐待について考え、安心して生活していただけるように努めている。毎月の会議でインシデントについて分析を行い再発の防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>開設時に研修を行い制度の理解を学習し、周知徹底している。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、説明をしっかりと行うことにより、不安をなくしている。疑問については、その都度、十分な説明を行い、理解・納得していただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>2ヶ月に一度の運営推進会議を行うことによりご家族様の意見を率直にお聞きする機会作りをしている。ご家族様からの質問・意見は、真摯に受け止め対応している。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月1回 スタッフ会議を行うことにより職員の意見や提案を聞き、運営作りに活かしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に昇給(職員・パート)する給与体制が出来ている。職員の希望休は、100%受け付けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>朝礼や研修にて、職員指導を行うことにより、職員の専門性を高めたり、質の高い生活の実現にむけて職員教育をしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部の研修に参加することにより同業者同士の交流の機会をつくり、相談ことや自己のモチベーションの向上につながるような関係作りを大切にしている。社内研修にて、同グループにおける職員同士の交流も随時行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入苑に際して、ご本人に困りごとをお聞きしたり、どのような生活をして行きたいのか十分に聞くことにより信頼関係を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族様の不安や要望を丁寧におききすることにより入苑に際しての不安をなくしていただき、安心して入苑の手続きが出来るよう心を込めて対応をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	介護支援専門員により細やかな計画を行い入苑者様の状態に合わせたケアの実現に向けてサービスを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	生活リハビリの場であることを念頭におき、役割作りを探し、掃除や洗濯物たたみ等、出来ることを一緒に行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人とご家族様の関係作りに努め、小さなことでも相談を受け、電話連絡を行うことにより、家族間の絆作りのお手伝いをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	知人・友人の面会やお手紙を書かれたりしている。ご家族様の協力により、外出をされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>入苑者同士が孤立しないように職員が声かけを行いリビングにて過ごされている。日々、個々の体調に合わせ、レク活動や体操等を行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>契約終了後も時折、ご家族様に本人様の様子を電話にて確認し、状況に合わせた支援を行っている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>アセスメント表やセンター方式を用い、本人様の意思把握に努めている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>センター方式を用いることにより今までの生活様式や思いをご家族様にお聞きし把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>入苑者様の生活状況や健康状態を日々、日誌に記入し全職員が把握できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>事前にご本人・ご家族様に要望等をお聞きしておき、看護師・介護職員にてカンファレンスを行い検討後、一人ひとりに合わせたケアプランを作成・実施している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>看護師・介護職員・ケアマネそれぞれが、入苑者様の状況を記入している。朝礼にて気づきを報告し情報の共有に努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ご家族様の協力の下、面会・外出(外食)をしていただいたり、年末年始には、外泊をされている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域のボランティアさんの協力により多彩な活動内容を披露していただいている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入所時に苑との提携病院の説明を行い、かかりつけ医を決定している。月2回の往診をしていただき、24時間いつでも医師と連絡が取れる体制作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>看護師による毎日の健康観察を行っている。日頃の状態把握を行うことにより、早期発見となり軽度の処置で済んでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>主治医より連携病院等への入院となり、医療機関との連携がとれている。退院時には、退院に向けての相談・アドバイスの関係作りが出来ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居契約時に契約内容として重度化や終末期に対しての話をしている。入居者様の状態に合わせて、主治医・苑・ご家族様との話し合いを必要時に行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>研修にて消防署より心肺蘇生の訓練を行ったり、AEDの訓練も行っている。施設での研修も随時行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>毎月、第2週の夜間帯にて、自衛消防訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	自分がされて嫌な事は、しないとの事を念頭に置き、心のこもった言葉かけを行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入苑者様の思いや考えを聞くことにより、出来るだけ本人の意思に添えるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	楽しく、笑顔で過ごせるように職員は、心配り・気配りを行い、入苑者様の希望に沿った支援が出来るよう食事時間や外出等、工夫している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問美容にて、毎月カットされている。ご自分で好みの服を選んでいただいたり、お化粧をされている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べたい物をお聞きしメニューを決めたり、調理の準備等を一緒に行う等工夫しながら支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日1500mlを目標にしている。食事形態についても流動食・刻み食・脂肪減食と個々に合わせた食事の提供をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後 口腔ケアを行っている。介助の必要な方については、出来にくい所の援助を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄のパターンを調べ把握することにより、トイレ誘導を効率的に行い、自立に向けた支援をしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食物繊維・野菜をたくさん取り入れ、朝には、出来るだけフルーツや乳製品を取り入れ、水分をこまめに摂取していただいている。お腹のマッサージや適度な運動を取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴日は、基本的には、決めているが、入苑者様の希望に沿うように入浴している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>落ち着いた環境の中で安心して生活していただけるように窓辺に座り心地のよいソファを置いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>看護師の指導のもと、薬の把握を職員が理解している。服薬については、3重の確認により内服していただいている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入苑者お一人ひとりに対して、行きたいところや、やってみたいこと、食べたい物などを把握するように努めている。苑外散歩も足腰の強化や気分転換のため行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>			
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>ご本人・家族様の希望があれば、自分でお金を管理されている方もおられ、近くのコンビニ等に職員と一緒にいき、買いたい物を買われている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の依頼があれば、苑の電話を貸し出している。手紙もご本人が書かれ友人等に出されている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節感があふれるように各行事ごとに、飾りつけを行ってみたり、折り紙クラブでの作品や絵手紙での作品を玄関に展示している。座り心地のよいソファの提供によりダイニングでの活動が中心である。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>居室にてお一人の空間を楽しまれたり、気心の知れた入苑者様同士の関係が作れるように座席に工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>馴染みの物を持参していただいたり、ご家族様による家具の持ち込みにより、個々の空間がより良いものになるように工夫されている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>職員が見守りを行い、出来るだけ死角をなくし、入苑者様が安全に過ごされるようリビングを広くしている。</p>		

V アウトカム項目（東）			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームほのぼの苑五日市八幡

作成日 平成 24 年 6 月 15 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	家族, 利用者が希望されている外出が十分に出来ていない	・希望時の外出支援 ・家族と一緒に外出レク	毎月のレクリエーションに可能な限りの外出レクを企画	1年
2	18	いつもホールでテレビを見ているか, うたた寝をしている	・めりはりのある時間作り ・共同生活する者同士の関係作り	1人の時間を大切にすも, 利用者とスタッフの過ごす時間の充実	1年
3	11	職員の意見や提案を言える機会が少ない	職員同士の人間関係づくり, 雰囲気づくり	ミーティングを頻度設け, 意見交換する	1年
4	24	生活環境の変化にとまどいあり	利用者の不安不満に早期発見	家族と綿密に連絡をとり, 情報収集し, 心地良い生活環境づくり	1年
5	26	情報の共有化が出来ていない	誰に質問しても同じ答えが返ってくる スタッフ間の連携づくり	利用者一人ひとりのケアプラン等を理解する	1年
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。